

青年部だより

「スプリングパーティー」屋形船ナイトクルージング

3月3日（日）、スプリングパーティー（屋形船ナイトクルージング）を開催しました。本事業は1年間の活動の振り返りを行い、まだまだ知らない仲間との交流の機会とすることを目的としています。

日中は東京観光、夕方からは東京湾で屋形船に乗船という楽しみがあります。



葛西臨海水族園は天候にも恵まれました

青年部の事業活動で1日行動を共にするということ、はこれまでもありましたが、ゆつくりと話をする機会というのには意外となかったように思います。本事業を通じて、部員同士の親交も大いに図れたのではないのでしょうか。オプザーバーの方にも青年部の雰囲気を感じて頂き、興味を持って頂く良い機会になったかと思えます。

今年度の青年部の事業活動



屋形船では会話ははずみました

動は本事業にて最後となり。今年度もたくさんの方々からご支援・ご指導を頂きましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。来年度、新体制に移行し、ご指導を頂けたら幸いです。我々、青年部も青年らしく何事にも挑戦する気持ちで活動していきたいと思えます。

文責：まちづくり委員会 委員長 伊藤恒平

とうがね夜間創業塾（全7回）終講

塾生17名が創業の想いを発表

1月18日から全7回でスタートした「とうがね夜間創業塾」が2月29日に終講しました。最終日は、17名の受講者が創業塾で学んだ内容をもとに創業計画書を発表しました。

これまでの知識と経験から創業する方、ずっと描いてきた夢を実現するための創業、地域の課題を解決するための創業、事業承継から新たに挑戦したい事業など受講者それぞれの熱い思いを制限時間ギリギリまで発表しました。



▲創業の熱い想いを発表する受講生

発表後には、仲間である受講生からのユニークな質問や協力できること等の意見が練り出され、発表者も受け止めていきました。最後に講師から、家族や支援団体の協力とこの7日間一緒に学んだ受講生が心強い支援者になっていくとのアドバイスがされました。終了後も受講者同士、別れを惜しむほどの素晴らしい創業塾となりました。受講生の8割以上が1年内に創業を計画しています。今後も夢が実現できるように当所はフォローアップに努めていきます。

商業部会県外視察研修

山梨県《富士吉田本町通り商店街、白州蒸溜所》を見学

3月10日（日）～11日（月）、役員等6名による県外視察研修を開催しました。富士吉田本町通り商店街は、シャッターを閉めているお店が多い中、日本一の富士山とレトロ商店街を背景としたインスタ映えする場所として話題沸騰中であり、多くの外国人観光客（インバウンド）で溢れている状況でした。



くども人が集まる非常に興味深い見学となりました。二日目、本年2月に発行された日本商工会議所の月刊誌「石垣」で紹介された「おしなそば」を昼食に堪能した後、白州蒸溜所を見学しました。噂通りとにかく丁寧なおもてなしの心を持った従業員の接客、山の上にある広大な広さでありながら景観を保ったままの美化にはただただ感心の一語。当所会員である菅原工芸硝子様の商品（白州専用グラス）が販売されており、人気の高い商品だということでした。



役員同士の親睦交流を図るとともに、今後の商売のヒントを持ち帰ることができた視察研修となりました。

【主な行程】
10日・富士吉田本町通り商店街→甲州夢小路→アメリカヤ11日・ワカサギ釣り→諏訪大社→キースヘリング美術館→道の駅小淵沢→白州蒸溜所

文責：商業部会長 小林弘明

まちの駅案内板

まちの駅全国大会inかごしま

2月16日（金）まちの駅全国大会のため鹿児島県を訪れました。出席したのは佐久間会長（陶芸の駅）をはじめ8名。早朝に東金を出発したにも関わらず強風で飛行機が遅れ、オープニングには間に合わず、分科会からの出席となりました。分科会では「本業を生かすまちの駅」「DX・インターネットを活用したまちの駅交流」「駅長会議の持ち方・活かし方」「まちの駅ネットワークと官民協働のまちづくり」といったテーマで意見交換がされました。全国各地のまちの



駅ネットワークは形態が多様で、行政に事務局機能があたり、観光協会が主体的に運営していたり、地域性やお家事情によって課題もそれぞれなので、たいへん勉強になりました。懇親会には塩田県知事はじめ各地の市長町長も多く参加し、食とお酒を堪能しました。

新駅 大募集!!

これさえあれば、あなたも「まちの駅」になれます♪

- ①「まちの駅」看板：のぼり旗やポスターを掲出
- ②まちの駅案内人：お店なら店員さん。おもてなしの心で迎えるのが第一
- ③トイレ・休憩場所：ちょっと貸せるトイレや、腰掛けられる場所。
- ④地域の情報提供：地域情報誌やお店のパンフレットなどを設置できるコーナー。

問 東金商工会議所 TEL 0475(52)1101

山の辺から①

東金はなぜ「とうがね」？
東の金と書いて「とうがね」。いわゆる「重箱読み」の地名だ。地名の漢字は後から当てられたものが多いので、別にこの地域に金脈があるとか、そういうわけではない。

「東金市史」によると、もとは「ときがみね」だったものが、「ときがね」とうがねに変化したらしい。「ときがみね」とは、市街地の北側につながる台地の美称で、かつてここに朱鷺ニッポニアニッポンの営巣地があったという伝承がある。「ときがね」は現在でも小学校名として残り、東金ダムの愛称「ときがね湖」にも用いられた。

「東金」という字が当てられたのは、戦国時代にこの地を治めた酒井氏に由来するとの説がある。土気城を本拠とした酒井定隆がこの地に隠居するにあたり、土気城の東の「金城湯池」という意味を込めたというのだ。少々うがちすぎの気はするが。

ちなみに、茨城県に「西金」という地名がある。読みは「さいがね」で、これも重箱読みだ。ちょっとと親近感を覚える。

広報委員 下

毎週開催！とうがね **スマホCLUB**

毎週金曜日 10:30 ~ 約1時間半
持ち物：スマホ
参加費：500円

新しい生活様式で「取り残され感」のある中高年のみなさん、スマホデビューしませんか？

場所：中央コミュニティセンター

4月 5日 12日 19日 26日

第104回八鶴湖生き物調査

空を見て雨対策、雨天決行です。

4/6 SAT

帽子・タオル、寒さ対策、雨対策、各自で準備をお願いします。

集合：八鶴館さくらホール
時間：9:00 ~ 11:45頃

まちの駅ネットワークとうがね
問 (株)街波通信社 TEL 0475 (86) 7772